

※授業内容や実施日程等は一部変更になることがあります。

実施回	日程	授業内容
第1回	2024年 10月7日 月曜日	オリエンテーション 介護・健康学科の1年間の流れや目的を確認し、講師及び学生同士の相互理解を深めます。 【講師】柏女 霊峰（学科長）
第2回	10月21日 月曜日	介護予防は生きがいづくり 「介護予防＝筋トレ」と思っていませんか。しかし本人が意欲的に取り組もうと心が動かなければ効果がありません。コミュニティガーデンのデイサービスは、多彩なメニューから一日の過ごし方を選べます。 【講師】萩野 裕道（コミュニティガーデン東京アネックス 施設長）
第3回	10月28日 月曜日	障がいを理解する 障がいの種類や法律・制度といった、一般の方がはじめて触れる障がいについての知識、将来ボランティアとして関わる上で知っておきたい事柄など、障がいの基礎を学びます。 【講師】江戸川区障害者福祉課長
第4回	11月18日 月曜日	介護技術の基礎 障がいを持った方々が街の中で困っていることや周囲に求めていることなどの生の声を聞くほか、車いすの取り扱い・視覚障がいの方のガイドヘルプなどを学びます。 【講師】大塚 隆俊（江戸川区福祉ボランティア団体協議会 活動部会長）
第5回	11月25日 月曜日	疾病・障がいに関わらず安心して暮らせるまちを目指して 障がいを持つ人たちが、地域の人とつながり安心して快適な生活ができる地域づくりに貢献している「コラボえどがわ」の取り組みについて学びます。 【講師】鶴岡 恵子（NPO法人コラボえどがわ 理事長）
第6回	12月2日 月曜日	世代間交流から介護予防 地域を持続・発展させるためには、高齢者から子どもまで全ての世代がつながり、循環する共生社会を創出する必要があります。活動事例として「りぷりんと」（高齢者読み聞かせボランティア）について学びます。 【講師】藤原 佳典 （東京都健康長寿医療センター研究所 副所長／ NPO法人りぷりんと・ネットワーク アドバイザー）
第7回	12月9日 月曜日	地域密着型サービス 認知症高齢者や要介護高齢者が、住み慣れた地域でいつまでも生活できるための地域密着型サービスについて学びます。 【講師】梅澤 宗一郎 （株式会社ウメザワ 代表取締役社長／ 江戸川区地域密着型サービス事業者連絡会 会長）

※授業内容や実施日程等は一部変更になることがあります。

実施回	日程	授業内容
第8回	12月16日 月曜日	介護保険制度 2000年に導入された介護保険制度は私たちの老いの暮らしを支えてきました。導入の社会的背景やこれまでの経緯、そして今後の方向性について学びます。また、制度の活用法について考えます。 【講師】江戸川区介護保険課長 柏女 霊峰（学科長）
第9回	12月23日 月曜日	ICT（情報通信技術）が超高齢社会を変える ICTを通じて、高齢者が世代・地域を超えて繋がることによる活力ある新しい超高齢社会の構築について学びます。 【講師】梅澤 宗一郎 （株式会社ウメザワ 代表取締役社長／ 江戸川区地域密着型サービス事業者連絡会 会長）
第10回	2025年 1月20日 月曜日	振り返り&ディスカッション これまでの学びを振り返り、学生同士の話し合いを重ねて、次のステップに進みます。 【講師】柏女 霊峰（学科長）
第11回	1月27日 月曜日	介護離職問題 介護離職の現状と実態、離職防止に向けての取り組み・支援などについて学びます。 【講師】荒井 浩道（駒沢大学文学部社会学科社会福祉学専攻 教授）
第12回	2月3日 月曜日	居場所づくり～住民・行政～ 住民主体の居場所づくり、行政が仕掛ける居場所づくり、地域での取組事例を紹介し、多様な居場所のあり方について考えます。 【講師】澤岡 詩野 （東海大学健康学部健康マネジメント学科 准教授）
第13回	2月10日 月曜日	多様化する施設～世代間交流～ 区内でも、複合施設の利点を活かし、相互の交流を促進し、利用される人々の個性と個別性を重視した取組が行われています。地域福祉の拠点として地域に期待される施設づくりについて学びます。 【講師】杉 啓以子 （社会福祉法人江東園 ケアセンターつばき 経営企画管理室本部長 ／NPO法人日本世代間交流協会 理事長）
第14回	2月17日 月曜日	「傾聴」の技術を学ぶ 傾聴ボランティアの初歩的な技術を学び、体験してみます。 【講師】江澤 佳哉子（心理カウンセラー／管理栄養士）
第15回	3月3日 月曜日	2年生の発表を聞く（1・2年生 合同授業） 2年生が授業で作成した「地域別社会資源マップ」の発表会へ参加します。江戸川区の現状を知るとともに地域の課題について考えます。 【講師】柏女 霊峰（学科長） 熊谷 恵津子（専任講師）

※授業内容や実施日程等は一部変更になることがあります。

実施回	日程	授業内容
第16回	3月10日 月曜日	認知症を知ろう①～認知症サポーター養成講座～ 認知症を正しく理解し、認知症の方や家族をサポートするための役割について学びます。 【講師】 舘 明美 (船堀熟年相談室 船堀地域包括支援センターウメザワ/ 認知症地域支援推進員) 熊谷 恵津子 (専任講師)
第17回	3月17日 月曜日	認知症を知ろう②～介護者の声に学ぶ～ 実際に認知症の家族を持つ介護者の視点から、家族としてできること、感じたことなど、生の声を聴きます。 【講師】 柏女 霊峰 (学科長)
第18回	3月27日 木曜日  日付注意	認知症を知ろう③～自分たちに何ができるか・医療の視点～ 医療の現場から見た認知症について解説するとともに、地域で認知症の方を支えるためにできることを学びます。 【講師】 小川 勝 (小川クリニック 院長)
単位外	3月31日 月曜日	大学祭に向けて 学びの成果を発表する大学祭への取り組みについて検討します。 【学生のみ】
第19回	4月7日 月曜日	認知症を知ろう④～認知症になっても働けるデイサービス～ 認知症でも明るく生き生きと暮らせることを目指し、認知症になっても働いて対価を得られる地域密着型通所介護事業所「DAYS BLG! (デイズ ビーエルジー)」について学びます。 【講師】 前田 隆行 (NPO法人町田市つながりの開 (かい) 理事長)
第20回	4月14日 月曜日	振り返り&ディスカッション これまでの学びを振り返り、学生同士の話し合いを重ねて次のステップに進みます。 【講師】 柏女 霊峰 (学科長)
第21回	4月21日 月曜日	家族を支える 家族や大切な人との死別、さまざまな喪失に伴う深い悲しみや悲痛を「グリーフ(悲嘆)」と呼びます。痛みを抱えた方に寄り添い、その方の回復や成長、希望を支援するグリーフケアについて学びます。 【講師】 宮林 幸江 (日本グリーフケア協会 会長/ 東北福祉大学健康科学部保健看護学科 教授)
第22回	4月28日 月曜日	ボランティア活動 「ボランティア」とは何か、その際のコーディネーションはどのように行うかなど、事例からボランティア活動について考えます。 【講師】 笹井 宏益 (子育てささえあい学科 学科長)

※授業内容や実施日程等は一部変更になることがあります。

実施回	日程	授業内容
第23回	5月12日 月曜日	<p>多様化する高齢者～在住外国人の高齢化～</p> <p>増加している在住外国人の高齢者を、地域でどのように支えていくことができるか考えます。</p> <p>【講師】野山 広（国際コミュニティ学科 学科長）</p>
第24回	5月19日 月曜日	<p>「自立支援」ボランティアの役割</p> <p>ボランティアは当事者ができることを支えることが大切です。自立支援の実態について学びます。</p> <p>【講師】池田 めぐみ（なぎさ和楽苑 苑長／認知症ケア専門士）</p>
第25回	5月26日 月曜日	<p>8050問題</p> <p>引きこもりの長期高齢化、8050世帯の現状と支援について学びます。</p> <p>【講師】臺田 薫 （認定NPO法人育て上げネット 執行役員／ 産業カウンセラー）</p>
第26回	6月2日 月曜日	<p>私の実践お話しします</p> <p>定年後や子どもたちが巣立った後、地域で暮らす術もなく有り余る時間を持て余し、無為な日々を送る人を見かけます。人生大学で学んだ人たちは、大学で何を学んで、卒業後にはどんな生きがいある暮らしを獲得したのでしょうか。人それぞれの学んだ実践を話してもらいます。</p> <p>【講師】江戸川総合人生大学卒業生 柏女 霊峰（学科長）</p>
第27回	6月9日 月曜日	<p>超高齢社会を生きる</p> <p>超高齢社会の実態を学び伺い、それを踏まえ、私たち一人ひとりはどう生き、地域社会にどのような貢献をしたらいいのかを学びます。</p> <p>【講師】結城 康博（淑徳大学総合福祉学部 教授）</p>
第28回	6月16日 月曜日	<p>2年生の卒業発表を聞こう（全2回）</p> <p>介護・健康学科2年生の卒業にあたっての課題研究発表や現在の活動状況を聞き、自らの課題を探るきっかけとします。</p>
第29回	6月30日 月曜日	<p>【講師】柏女 霊峰（学科長） 熊谷 恵津子（専任講師）</p>
第30回	7月7日 月曜日	<p>介護・健康学科 1年間のまとめ</p> <p>1年間の学びを振り返るとともに、自らが地域でできることは何かを考えます。</p> <p>【講師】柏女 霊峰（学科長）</p>